

研究主題
自分の考えを持ち、たがいに学び合う子の育成

めざす児童像
自分の考えを持ち、根拠をもとに相手にわかるように伝え合おうとする子

根拠をもとにした意見の伝え合いにより、考えが深まる授業をめざす

低学年	中学年	高学年
事柄を順序立てて話し、大事なことを落とさずに聞くことができる。	理由を示しながら考えを話し、話の中心に気をつけ、比べながら聞くことができる。	理由や事例を示しながら話し、相手の意図を考え、自分の意見と比べながら聞くことができる。

研究仮説

仮説1	仮説2
「つかむ」段階で既習の学習や経験と結びつけて解決の見通しをもつ活動に取り組めば、課題についての自分の考えを持てるだろう。	理由や根拠を示しながら話したり、相手の話の要点をつかんで聞き取ったりできれば互いに伝え合うことができるだろう。

授業づくり

自分の考えを持つ 学び合う

<p>授業づくり</p> <p><自分の考えを持つ></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇課題の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと結びついた課題設定の工夫 ・具体物の提示等の課題提示の工夫 ◇考えを書く <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでカード」で既習内容を提示 ・書く活動の場の設定と時間の保障 ※自分の考えやその根拠、理由を書く。 <p><伝え合う></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇考えを伝え合う <ul style="list-style-type: none"> ・話型をもとに発表のしかたの改善を進める。 ・学習形態を工夫する。 ・伝え合いの場が深まるよう支援する。 ・伝え合うことで自分の考えが深まった実感をもつようにし、意欲につなげる。 ◇学習をふり返る <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をしたり、友達から学んだことを書いたりして学習を振り返る。 	<p>基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇基礎基本の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップタイム ・チャレンジテスト（年3回） ・放課後ふれあい学習 ◇学習環境の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・大屋小学校学習・生活スタンダード ・学習コーナー ◇家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・「20・40・60運動」 ・家庭学習の手引き ◇読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・朝の全校一斉読書 ・ブックリストの提示 ・家庭読書の推進 ◇書く活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・条件を提示した書く活動（100～200字） ・スキルアップタイムと国語の時間を利用
--	--